

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 21 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠, and 事業期間.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標 (活動指標, 対象指標, 成果指標) with values for 01-05 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 01, 02, and 03 years, including 期間限定総投入量.

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of business expenses) for 02 and 03 years, including a total (合計) row.

事務事業名	子ども読書活動推進（計画策定）事業	事務事業No.	20201001061	所属課	生涯学習課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成13年に国において「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し、平成14年には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定された。 国、及び県の計画を基本とし、桜川市の推進状況を踏まえて計画を策定するものとする。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） [ ]
	② 公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） [ ]
有効性	③ 成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） [ ]
	④ 廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） [ ]
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）☐→具体的な手段、事務事業名 [ ]
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） [ ]
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） [ ]

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）	
①目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）	
☐ 終了 ☐ 継続 → ☐ 改革改善を行う → ( ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ) ☐ 廃止 ☐ 休止 → ☐ 現状維持 ( ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ) ( ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる )		成果優先度評価結果 ①	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策			
(6) 事務事業優先度評価結果			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 [ ] A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 [ ] B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 [ ]